教科	数学	観点	① 知識・技能
学年	1年生		② 思考・判断・表現
授業形態	一斉		③ 主体的に学習に取り組む態度
教科目標	課題が明確で、知識・技能の習得ができる授業づくり めあてと振り返りの徹底と、授業の流れの見える化と協働的な学びの意識化		

学期	単元名	学習内容	目標到達のめやす	評価する観点
1学期	1章　正の数・負の数	1節　正の数・負の数	正の数と負の数の必要性と意味を理解できる。	①③
		2節　正の数・負の数の計算	正の数と負の数の四則演算ができる。	①
		3節　正の数・負の数の利用	正の数と負の数を具体的な場面で活用できる。	②
	2章　文字の式	1節　文字を使った式	文字を用いることの必要性と意味を理解する。	①③
		2節　文字式の計算	文字式を用いたり、文字式を読み取れる。	①②
		3節　文字式の利用	文字式を具体的な場面で活用できる。	②
2学期	3章　方程式	1節　方程式	方程式、比例式を解くことができる。	①③
		2節　方程式の利用	方程式、比例式を具体的な場面で活用することができる。	②
	4章　変化と対応	1節　関数	関数関係の意味について理解する。	①③
		2節　比例	比例の式やグラフの読み取り、書き取りができる。	①
		3節　反比例	反比例の式やグラフの読み取り、書き取りができる。	①
		4節　比例、反比例の利用	表、式、グラフを用いて変化や対応の特徴を見出すことができる。	②③
	5章　平面図形	1節　直線と図形	図形で用いられる記号の意味を理解できる。	①③
		2節　移動と作図	図形の移動や、作図の方法を理解できる。	①③
		3節　移動と作図の利用	移動や作図など平面図形で学んだことを活用できる。	②③
		4節　円とおうぎ形	円とおうぎ形の性質を理解し、利用することができる。	①②
3学期	6章　空間図形	1節　立体と空間図形	空間図形における直線や平行の位置関係が理解できる。	①③
		2節　立体の体積と表面積	柱体や錐体の体積、表面積を求めることができる。	①②
		3節　空間図形の利用	空間図形で学んだことを具体的な場面で活用できる。	②③
	7章　データの活用	1節　ヒストグラムと相対度数	ヒストグラムや相対度数の必要性を理解できる。	①③
		2節　データにもとづく確率	事象の起こりやすさの傾向を読み取り、表現できる。	①②

◎評価の方法

①②・・・定期テストや実力（課題）テストの点数。また、小テストの点数や課題など
③　・・・提出物や課題の出来や提出状況。また、授業中における取り組みの様子など

◎学習のポイント（学習の進め方について）

教科書を章ごとに指導していきます。
授業の内容と並行して、ワークを行ってください。